

2011年度 修学院フォーラム
「福祉とこころ」
第2回

〈主催〉(財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

日本の福祉は大きな転換点を迎えています。
その中でも新しい福祉の芽は地道に福祉の隙間を縫うように、展開されています。
この新たな福祉の芽に注目し、明日の福祉を考えます。

聖書に尋ねる福祉の思想

講師：岡山 孝太郎 (京都キリスト教福祉会理事長・日本キリスト教社会福祉学会前副会長)

ふかい孤独とかすかな希望を込めて、山口誓子は一句を遺した：

〈海に出て 木枯帰るところなし〉

いま、木枯しに思わず襟を立てる季節。それは自分を抱きしめて「いのちの音」を体感する季節でもある。同時に人と人とのつながり、絆を思いめぐらすときでもある。聖書の中には、襟をたてて、この世の木枯しに吹き流されていった人間群像の影が描かれている。そして市場原理の嵐が吹きすさぶ現代の世情には、60%を切る新大卒就職率、200万余を数える生活保護受給者、そして小児虐待と高齢者の孤独死の現実が重くたれこめていく。

これら聖書の人間像から現代の孤絶の現実まで、一貫して立ち現れるのは「人間無残の姿」である。それゆえ、辿ってみたい、この無残の歩みを！ そして深く問うてみたい、人間の未来を切り拓くべき「福祉のかたち」を！ (岡山 孝太郎)

日時 2012年 2月 18日 (土) 13:30~17:00

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,000円 学生500円

ご参加希望の方は、2月15日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。
ただし、定員に達し次第締め切ります。



岡山 孝太郎 OKAYAMA Kotaro

1933年 宮崎県生まれ。同志社大学大学院修士課程終了。
ドイツ ハンブルグ大学で博士号を取得。同志社大学大学院
講師、向日町教会牧師、まこと幼稚園園長、日本キリスト教
社会福祉学会副会長などを歴任。現在、(福)京都キリスト
教福祉会理事長。著書に「生命の意味」など。

■ 修学院フォーラム「いのちを考える」

第 4 回 2011年12月17日 (土)

「いのちからの問い、いのちへの問い
—生命倫理を超えて—

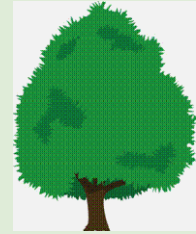
講師：安藤 泰至 (鳥取大学医学部准教授)

■ 認知症に関するプログラム

2012年1月28日 (土)

「認知症って何だろう
—あなたも私も無縁ではないこの病気のこと—」

講師：中島 健二 (京都府立医科大学名誉教授)



◎詳細およびその他のプログラムは、
当センターウェブページをご覧ください。

◎2012年度プログラムも、ただ今企画・準備中です。
どうぞご期待ください。

《会場への地図》

《申込み・問合せ》

(財) 日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134
京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2115
FAX 075-701-5256
E-mail:office@academy-kansai.org

運営委員長 小久保 正
プログラム係 都木かおり



無料駐車場
あります。

* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄からタクシーご利用の場合、地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅の方がタクシーを拾いやすいです。

2011年度 修学院フォーラム「福祉とこころ」第 2 回 参加申込書

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 ()	FAX ()
電子メール :	@
通信欄	